

ふくしまの過去を知ろう、いま動こう。  
未来の環境を創るために。



環境創造センター

# ふくしまの過去を知ろう、いま動こう。 未来の環境を創るために。

2011年3月、東日本大震災と原子力災害によって、ふくしまは大きな被害を受けました。  
変わってしまった暮らしと環境を決してそのままにせず、いつまでも安心して暮らせる環境を創っていくこと。  
それがわたしたち「環境創造センター」の使命です。

どんなことを  
しているの？

## ふくしまの自然と暮らしを取り戻し、 あらたな環境創りを進めます。

環境創造センターはその使命を果たすため、4つのプロジェクトに取り組んでいます。  
成果はそれぞれのプロジェクトで共有・活用して、よりよい取り組みにつなげていきます。

### —環境を見守る— モニタリング

大気や水、土壌、海洋といった自然環境の見守り役となって、安全な暮らしが守られているかを確認しています。



### —調べる・活用する— 調査研究

ふくしまの環境を取り戻し、よりよい環境を創るための調査や研究を、4つの部門ごとに進めています。



情報や成果をすべてのプロジェクトで共有し、活用していきます。

### —広く伝える— 情報収集・発信

環境の回復や創造のためのデータや情報を、だれもが分かりやすく活用できるようにしています。



### —ともに考える— 教育・研修・交流

ふくしまの今の環境の状況や放射線に関する正しい情報を学び伝え、あう空間をつくり、県民の皆さんなどと力を合わせて未来を描きます。



コミュニタ  
ン  
福島って？

## コミュニタ ン 福島

「コミュニタ福島」は環境創造センター交流棟の愛称。体験型の展示や学習プログラムを通して、放射線や環境問題を分かりやすく、より深く学ぶことができます。来館した方一人ひとりがそれぞれの立場でふくしまの未来を創造し、発信するきっかけとなる場を目指します。



霧箱

ふだん目に見えない放射線を、飛行機雲のようなすがたで観察することができます。



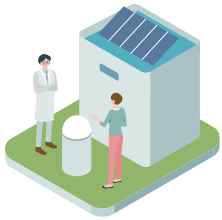
さわ  
触れる地球

地球上の様々な環境問題やSDGsに触れることができるデジタル地球儀です。



全球型ドームシアター  
「環境創造シアター」

球体のシアターの中に入り、360°全方位の映像を視聴することができます。



# 環境を見守る

—モニタリング—

monitoring

わたしたちの周りにある自然環境は、大気や水、土壌、海洋などによってつくられています。こうした自然環境の中に含まれる放射性物質や汚染物質の状況を継続的に測定・記録して、安全な暮らしが守られているかを確認しています。福島県内のさまざまな場所に設置された「モニタリングポスト」からも空間線量についての情報がリアルタイムで届き、その数値をつねに確認しています。



# 広く伝える

—情報収集・発信—

collection and provision of information

環境の回復や創造のためのデータや情報を、研究者や専門家だけでなく、ふくしまで暮らす県民や県外の方など、だれもが分かりやすく活用できるような形で発信しています。コミュタン福島の展示やスタッフとの対話、情報発信のイベントなどを通して正確な情報を広く発信することで、根強く残る風評を取り払い、ふくしまへの理解を深めてもらうことにつなげます。



調査研究で得られた成果をわかりやすくまとめ、誰でも気軽に調べることができるように「福島総合環境情報サイト (FaCE!S-フェイス)」を公開しています。



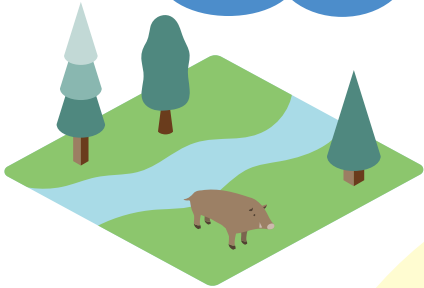


# 調べる・活用する —調査研究—

research

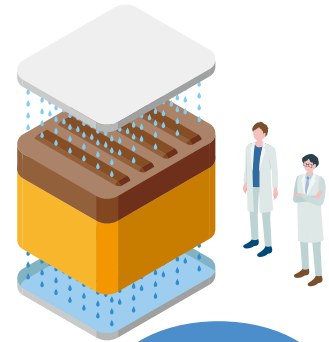
「放射性物質は環境の中でどのように移動しているのか」「分析や測定技術をもっと高めるにはどうすればいいか」「災害に強い街をつくるにはどんなことが必要か」……ふくしまの環境を取り戻し、よりよい環境を創るために、こうした課題に向き合う調査や研究を4つの部門ごとに進めています。取り組みの内容や成果は国や県などが実施する施策などに活用されます。

河川に含まれる放射性物質の濃度や、河川を通じて下流へ流れていった放射性物質の移行状況等について研究しています。



## 環境動態

環境中で放射性物質がどのような経路で、どのように移動するのかを分析。自然環境や動植物、わたしたちの暮らしへの影響を把握します。



除染によって回収された土に雨が降ったときの影響を実験室でシミュレーションしています。

## 放射線計測

放射線の環境への影響を正しく把握できるよう、分析・測定技術などの開発を行い、県民の皆さんへ情報発信しています。



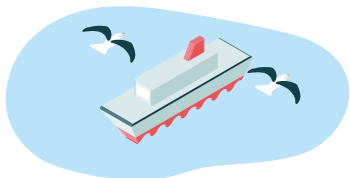
## ふくしまの環境の回復・創造を目指して

## 除染・廃棄物

除染の効果を予測して情報提供したり、廃棄物の処理方法や再生利用の技術を開発したりすることで、環境回復を推進します。



上空、地上や水中の放射線の遠隔測定技術の研究を行っています。



## 環境創造

自然豊かで安心・安全な暮らしを実現できるよう、地域と社会の特性や資源を活かす方法について調査・研究を行います。



地域循環共生圏\*の構築を目指して、環境保全や環境に配慮した地域を創るための研究を行っています。



\*美しい環境等の地域資源を活用し、地域の活力を発揮することを目指す考え方。



# ともに考える —教育・研修・交流—

education, training, information exchange and communication

「原子力発電所の事故でどんな影響があったんだろう」「今のふくしまはどうなっているんだろう」「放射線ってなんだろう」といった疑問について学んだり、情報や思いを発信したり、伝え合ったりする空間づくりを行っています。県民の皆さんや県内外のNPO団体、教育機関などが連携し合い、力を合わせてふくしまの未来を描いていく場となることを目指します。



## 学びの場として

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故以降、県内のすべての小中学校で「放射線教育」が行われています。コミュタン福島の体験型の展示室やスタッフとの対話を活用することで、より主体的で深い学びを得ることができます。



## 交流のプラットフォームとして

コミュタン福島には展示室のほかに、200名収容できるホール、大小さまざまな会議室や学習室が備わっています。展示室での体験や学びと合わせて、情報共有や意見交換などを行う交流の場として活用できます。



## 人材育成講座の実施

県内の小学生、中学生、高校生以上の方をそれぞれ対象とした人材育成講座を開催しています。ワークショップを通してふくしまの現状について学びながら主体的に考え、情報や思いを発信できる力を養います。

## 4つのプロジェクトを横断して

「モニタリング」「調査研究」で得た成果を「情報収集・発信」「教育・研修・交流」に役立てたり、情報発信や交流の場で生まれた要望を他の取り組みに反映させたりしながら、各プロジェクトを活性化しています。



センターの調査研究成果を分かりやすく伝える「サイエンストーク」



県民の皆さんとともに未来を考え発信する「環境創造シンポジウム」

どんな組織が  
取り組んでいるの？

## 3つの機関が連携して取り組みを進めています。

前例のない原子力災害からの環境回復・創造のために、原子力に関する総合的な研究を行う「日本原子力研究開発機構(JAEA)」、日本の環境研究の中核を担う「国立環境研究所(NIES)」、そして福島県の3機関が協力して取り組んでいます。



福島県



国立研究開発法人国立環境研究所



国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

施設はどこに  
あるの？

## 3つの棟と4つの関連施設を拠点としています。

「本館」「研究棟」「交流棟(コミュタン福島)」の3棟が三春町に所在。南相馬市、猪苗代町、大玉村、福島市に置かれた4施設と合わせて「環境創造センター」が成り立っています。



### 環境創造センター〈三春町〉

研究棟 本館 交流棟

JAEA/NIES

県

県

環境創造センターの本部施設。福島県、JAEA  
そしてNIESが入居し、連携・協力しながら、4つ  
のプロジェクトに取り組んでいます。

### 環境放射線センター 〈南相馬市〉

県 JAEA

福島県とJAEAが入居し、原子力発  
電所周辺のモニタリングや空間放  
射線の常時監視を行っています。

### 猪苗代

#### 水環境センター〈猪苗代町〉

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群に関  
する調査研究やボランティア  
活動の拠点としての役割を  
担っています。

### 野生生物 共生センター 〈大玉村〉

野生生物の保護・救護  
や、野生生物のモニタリ  
ングを行っています。

### 福島支所 〈福島市〉

環境中にわずかに  
存在する放射性物  
質の分析などを行っ  
ています。

## 環境創造センター 〒963-7700 福島県田村郡三春町深作10番2号

- 【本館】福島県環境創造センター  
TEL:0247-61-6111 FAX:0247-61-6119
- 【交流棟】コミュタン福島  
TEL:0247-61-5721 FAX:0247-61-5727
- 【研究棟】国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
福島研究開発部門 福島研究開発拠点  
廃炉環境国際共同研究センター  
TEL:0247-61-2910 FAX:0247-62-3650
- 【研究棟】国立研究開発法人国立環境研究所  
福島地域協働研究拠点  
TEL:0247-61-6561 FAX:0247-61-6562



〈環境創造センター〉



〈コミュタン福島〉



- ▶車をご利用の場合:磐越自動車道船引三春ICより約5分
- ▶公共交通機関をご利用の場合:JR磐越東線三春駅より三春町町営バス
- ▶三春町町営バスJR三春駅～環境創造センター(無料)